

# 一緒に歌いましょう

合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」がやってきた。13回目のコンサート(毎日新聞さいたま支局など後援)が来月6月19日、川口市のJR川口駅西口にある川口総合文化センター・リリアで開かれる。歌を披露する合唱団は1991年に初演し、その後ほぼ2年ごとに公演してきた。毎回メンバーを募集しており、今回も主催者は「一緒に歌いましょう」と参加を呼びかけている。

全11話の組曲は、太平



合唱の練習風景。川口市立教育研究所で

## 合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」

洋戦中に名古屋市東山動物園のゾウ2頭が、園長の必死の努力で餓死をまぬがれ、生き残った実話に基づいたストーリー。戦後、子どもたちの「ゾウに会いたい」という夢をかなえようと、全国の子ともたちを乗せた特別列車「ぞうれっしゃ」が動物園に向け走った。

コンサートが始まったきっかけは、合唱団代表の荒木紀理子さん(59)が1990年に蔵市で開かれたイベントで合唱曲に出合ったこと。荒木さん

若いファミリー層の増加。今回の団員の特徴は、



初めて家族全員で合唱に参加する阿久沢さん一家

## 川口で来年6月公演 メンバー募集

加。特にこれまで家族の送迎などサポート役だった父親たちが積極的に参加しているという。共に小学校教諭の阿久沢さん(40)、留美子さん(41)夫婦も長男健ちゃん(6)と次男理ちゃん(4)と一緒に初めて家族全員で歌声を響かせる。

最初に合唱団に参加したのは留美子さん。教員になったばかりの18年前に初参加し、結婚後も一人で毎回参加してきたが、最近、保育園で「ぞうれっしゃ」を知った健ちゃんが「ゾウはどうして殺されちゃうの」などと質問してきたことから、「子どもなりに考えている」と感じ、親子での参加を決めた。その後、「歌は苦手」という透さんも加わった。

出勤するため自宅から最寄り駅に向かう車内で、親子4人で練習するのが日課。今後はさらに練習を重ね「演奏を成功させるため、家族4人で頑張りたい」と張り切っている。【鶴沢哲雄】

埼玉中央

SAITAMA  
saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局

〒330-9550  
さいたま市浦和区岸町7の10の14  
☎048(829)2961  
FAX048(829)2964

熊谷支局

〒360-0041  
熊谷市宮町2の122  
第一宮町ビル5F  
☎048(521)0012  
FAX048(520)2208

埼玉西支局

〒350-0042  
川越市中原町1